

3年連続入賞！ふるさとの魅力伝えます

NCC ふるさと CM 大賞

第10回NCCふるさとCM大賞の最終審査と表彰式が3月8日、長崎市の原爆資料館ホールで行われ、松浦高等学校放送部の作品『松浦っ娘にメロンメロン』が優秀賞を獲得し、3年連続の入賞となりました。

松浦市の特産品であるアールスメロンを題材にしたユーモアたっぷりの作品で、年間に50回の無料放送が予定されています。30秒間に松浦の魅力をたっぷりと詰め込んだ作品です。楽しみにご覧ください。



全国に挑む迫力の泳ぎ

太田紗彩さんがバタフライで全国大会に！

志佐小学校3年生の太田紗彩さん（ビートスイミング松浦所属）が3月13日、第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会の出場報告のため市役所を訪れました。

県内トップクラスの小学生スイマーとして活躍している太田さんは、2月27日に長崎市で行われた長崎県春季招待記録会の女子50mバタフライ9歳以下で33秒39を記録。短水路の全国大会標準記録33秒68を見事に突破し、全国への切符を手に入れました。

出場報告の中で太田さんは、「全国でベストを出してがんばってきます」と大会への抱負を元気に話しました。



心に響く影絵

御厨小学校

御厨小学校で3月5日・6日の両日、演劇集団「円」に所属する女優の谷川清美さんと乙倉遥さんを招いて「谷川清美が語る 心に響く影絵」が上演されました。

この会は、同校の卒業生である迎秀夫さんが、プロの上演による影絵の鑑賞を通し、本物に触れることで子どもたちの豊かな心、優しい心の醸成を図ってほしいとの思いから、親交のある谷川さんを招いて開催されました。

影絵紙芝居では「幸福の王子」と「ねずみの嫁入り」が上演され、子どもたちはその美しい影絵の世界に引き込まれ、魅了されていました。

また、手影絵ではフクロウやウサギ、亀などの動物を映し出し、子どもたちも一緒に手影絵を楽しみました。



手作り弁当が大集合！

食の文化祭 in 福島

第3回食の文化祭 in 福島が3月8日、福島保健センターで開催されました。

「あの人に食べてほしいお弁当大集合」をテーマに開催された今回は、地元の小・中学生が手作り弁当を持ち寄り、お弁当にまつわるエピソードなどを発表しました。スクリーンに映し出された各自のお弁当を横に感性豊かな子どもたちが発表を始めると、会場を訪れた人たちは関心した様子で話を聞いていました。

このほかにも、食の専門家による講演や郷土料理の展示・試食なども行われ、参加者たちは食への関心と知識を深めました。



人命救助表彰

松浦鉄道松浦駅近くで発生した転落事故における人命救助表彰式が3月12日、松浦市教育委員会で行われ、県立鹿町工業高校3年（事故発生当時）の井元晃平さん、畑中友樹さん、林颯太さん、県立猶興館高校3年（事故発生当時）の松永大成さんの4人に松尾教育長から表彰状が渡されました。

1月30日の午後8時ころ、松浦駅近くの水路（深さ約2m）内に倒れていた男性を発見した4人は、男性を助け上げた後、MRに同乗し、MR福島口で下車して伊万里市の男性の自宅まで送り届けました。

寒夜の夜、4人の的確な判断と迅速な行動で尊い命が救われました。



家畜人工授精優良技術発表全国大会「西川賞」受賞

第43回家畜人工受精優良技術発表全国大会が2月17日、東京都で開催され、和牛繁殖農家で家畜人工授精師の大石啓介さん（鷹島・原、38）が長崎県代表として出場し、最優秀賞となる西川賞を受賞しました。

大石さんは、鷹島町和牛改良組合の組合員として地域内における牛の繁殖成績の向上に取り組まれており、栄養状態の改善指導や獣医師との連携により全国でも上位を争う分娩間隔の短縮に成功。本大会では、「黒毛和種における『分娩間隔日本一達成』への取り組み」と題して、日常業務で培った知見や研究成果を発表し、そのことが高く評価され今回の受賞となりました。

この表彰は、これまでに全国で48人が受賞しており、長崎県では、大石さんが4人目の受賞者となります。



子ども県展絵画部門・版画部門特別賞受賞

第60回長崎県小・中学生児童生徒美術作品展（子ども県展）で、県内の小中学生の応募作品約7万点（絵画・版画・立体・デザインの4部門）から選ばれた60点が特別賞を受賞しました。

絵画部門では石井千尋さん（御厨小学校4年）が教育委員会賞を受賞しました。石井さんは、「小さいころから絵を描くのが好きで、賞を取れてうれしかったです。宇宙の中に一本の大きなひまわりを絵の具とクレヨンを使って描きました。これからも画用紙いっぱい堂々とした絵を描きたいです」と話しました。

版画部門では、松本梨乃さん（調川小学校4年）が教育委員会賞、松本颯斗さん（調川小学校1年）が造形教育研究会賞を受賞



▲ 石井千尋さん（御厨小4年）

※受賞時の学年で掲載しています。

し、たいへん珍しい姉弟での受賞となりました。

松本梨乃さんは、「たびら昆虫自然園で見た蝶々を作りました。細かく彫るところが難しかったけど、頑張りました。これからも作っていきたいです」と話しました。

松本颯斗さんは、「授業で学校の近くにある田んぼで見た風景です。段ボールでコオロギとバッタを作りました。虫は難しかったけど、頑張って作りました」と話しました。二人とも姉弟での受賞をととても喜んでいました。



▲ 右：松本梨乃さん（調川小4年）
左：松本颯斗さん（調川小1年）